

六甲山開発の歴史と

「野仏の佇む シュラインロードを巡る」

シュラインロードは明治のはじめ、この道をハイキングした神戸外国人居留地の外国人たちは、山道に、行者堂や石祠 (Shrine) のあることから、シュラインロードと名付けました。

古くは、唐櫃越、または、唐櫃道と呼ばれ、北摂方面から、酒米、三木の刃物や農産物を灘方面からは、海産物などが運搬され、神戸の海岸地方と内陸部を結ぶ、経済の動脈でした。

野盗や辻斬り、事故の犠牲になった人への供養と、道中の安全と商売繁盛を願って、祀られた「三十三所観音石仏」を一つひとつ教えながら、また、六甲山開発の歴史と、携わった先人たちに思いを馳せながら、のんびりと歩きましょう。

☆☆☆ ご家族、お友達を誘って、ご参加をお待ちしております ☆☆☆

開催日 : 2019年6月5日 (水) (雨天中止)

集合場所・時間 : JR六甲道 改札口 : 9時30分 集合

コース 歩行距離 約8.5km

JR 六甲道 出発 ⇒ (市バス) = 六甲ケーブル下駅 = (ケーブルカー) = 山頂駅 (巻上機見学) ⇒ 天覧台 ⇒ 記念碑台 (昼食) ⇒ 前ヶ辻 ⇒ 白髭神社 ⇒ シュラインロード ⇒ 九体仏 ⇒ 四鬼邸 (役行者の子孫) ⇒ 東谷西国 33 所観音石仏 ⇒ 神鉄六甲駅 解散 (15時30分頃予定)

- 参加費 : 800円を当日受付時、徴収いたします。六甲ケーブルの巻上機見学料 (300円)、ケーブルカー団体割引 (片道) 料金 (531円) ☆ 差額は北区会が負担します。
- 注意事項 : 一部、緩やかな登りや、足場の悪い急な下り坂が続く、特に雨の後は、ぬかるみがあります。又、ドライブウェイの路側帯の通行や、横断する処が3所あり、車には十分ご注意ください。
- 所持品 : 弁当・水筒・日よけ帽子・(雨具)・歩きやすい服装
- 申込み方法 : 5月27日 (月) までに 各ブロック連絡委員へ申し込んでください。
- 雨天中止 : 前日の午後18時55分、放送の「NHKテレビ気象情報」で兵庫県南部の降水確率が、50%以上の場合は、中止と致します。



道中に佇む、西国三十三所観音石仏



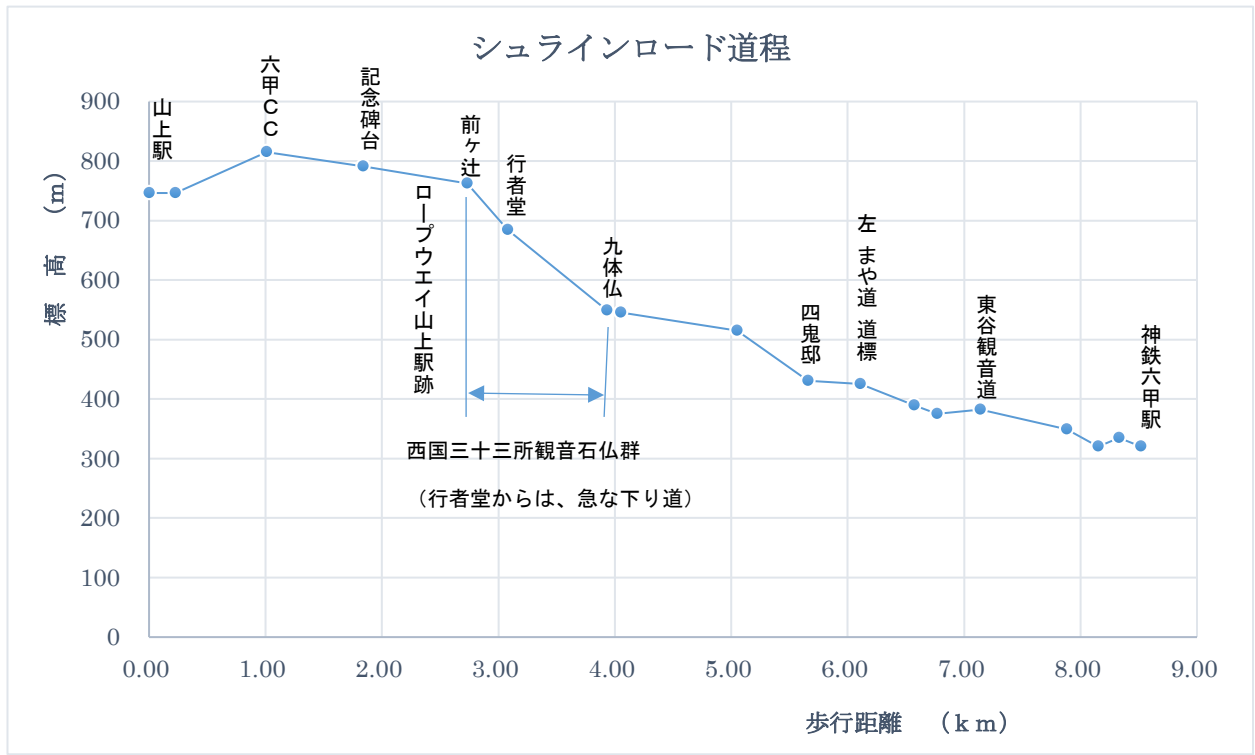
どこか、坂本花織選手に似てる? 如意輪観音の微笑



「役の行者」を祀る行者堂



六甲ケーブルの巻上機見学 (昭和7年開業)



その他の見どころ



記念碑台より、六甲登山ロープウェイ山上駅・六甲山ホテル方面を見る（昭和初期の絵葉書より）

今も残る六甲山ロープウェイ山上駅の月見橋跡



シュラインロード、三国岩を経て摩耶山への道と、山伏峠を経て湯山街道（有馬街道）に通じる道との分岐点に立つ道標

山伏峠への道との分岐に建つ道標

唐櫃 東谷に佇む観音石仏（第4番）

願主が、吉兆創業者 湯木貞一の石仏